



むらさき朝会

本日13日(木)は、むらさき朝会でした。むらさき朝会は、Zoomで校長の話や、生徒指導担当からの話などがあり、校内全員で生活上の課題やよかったところを共有し、自分自身のこととして考え、共通実践に繋げるための時間だと考えています。今月の生活目標は「場に応じたあいさつをしよう」です。私の方からは、挨拶が大切な理由について話をしました。それは、①心のポイントがたまる ②コミュニケーションのきっかけになる ③場の雰囲気よくなる の3つです。①の心のポイントがたまるというのは、挨拶をしても相手が返してくれない場合があります。そのとき挨拶をした方は、モヤモヤして嫌な気分になります。しかし、挨拶を続けることで、相手の心の中は、「あの人、毎日話しかけてくれる。なんだか話しやすそう。」という気持ちになるのです。挨拶をすることで、相手によい印象をもたれ、挨拶する人へのポイントはプラスされていくのです。挨拶をしても損をすることって全くないのです。

また、朝から交通指導に立っていて、そのときに気持ちのよい挨拶をしてくれる「あいさつ名人」を紹介しました。そして、名人の挨拶の仕方を考えてもらいました。実は、

あかるく	元気な声で
いちばんに	相手より先に
さわやかに	最高の笑顔で
つねに	いつも、どこでも、だれにでも

挨拶の仕方のポイントは、児童玄関に掲示してあります。これを子供たちにも紹介し、実践につなげて欲しいことを伝えました。挨拶の飛び交う学校になって、たくさん帯西グリーンが活躍してほしいと思います。

地震火災避難訓練

今日は、地震・火災避難訓練もありました。熊本地震から7年が経過し、教訓を風化させないためにも、学校で地震が起きたときに命が守れる行動を取れるようにするための大事な訓練となります。訓練の前に、各教室で動画を視聴し、地震のときの身の守り方を確認しました。その後、担任の方から、防災頭巾の被り方や、避難経路の確認等を行いました。防災頭巾を被って運動場に集まってくる子供たちの表情はとても真剣で、各学級での学びが、心に響いていることがわかりました。

私の方からは、今後30年以内に地震の起こる可能性について話しました。震度5程度の地震なら、その確率はグンと上がってきます。震度5程度の地震は、歩くことも困難となり、家具も倒れやすくなります。そこで、ご家庭でも地震が起きたときの対処の仕方を是非話し合っただけで欲しいと思います。例えば、①家の中での安全な場所 ②避難路、避難場所の確認 ③避難するとき、誰が何をもち出すかの役割分担 ④家族がバラバラに離れたときの連絡方法 ⑤災害時の必需品の備え などです。訓練を生かして、「備えあれば憂いなし」となってくれることを願いました。

